

都市再生整備計画

あ ぼ し え き し ゅ う へ ん だ い き
JR網干駅周辺地区(第2期)

ひ ょ う ご ひ め じ
兵庫県 姫路市

令和7年1月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	兵庫県	市町村名	ひめじ 姫路市	地区名	あぼしまきしゅうへん だい き JR網干駅周辺地区(第2期)	面積	5 ha
計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度				

<p>目標</p> <p>大目標：姫路市西部の玄関口にふさわしい、快適で賑わいあるJR網干駅周辺の再生</p> <p>目標1：利便性の高い魅力的な駅前交通結節点づくり</p> <p>目標2：快適で安心して暮らせる、商業・住宅の調和したまちづくり</p> <p>目標3：災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくり</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>本市では、姫路駅を中心に各種交通機関や商業・業務機能が集中し、播磨地域における社会経済活動の中心地として発展してきた。しかしながら、モータリゼーションの進展等を背景とした市街地の拡大、少子高齢化に伴う人口減少等を背景に中心市街地の空洞化が進み、低密度な市街地の形成等による都市機能の低下が懸念される。こうしたことから、中心市街地において、姫路駅周辺都市再生整備計画事業、公共が保有する低未利用地を活用した教育文化施設、手柄山中央公園の再整備により、都市機能の拡散防止及び市民の生活利便性の維持・向上を図っている。また、世界文化遺産・姫路城の観光資源を最大限活用し、交流の拡大を図る。</p> <p>一方、既成市街地外縁部の住宅地では、人口減少、居住者の高齢化が顕著であり、人口密度を維持、経済力の維持・強化や地域コミュニティの維持・活性化を図る必要がある。このため、公共交通(駅・バス停)を拠点として、都心部や地域生活圏とのネットワーク化や公共交通網の充実を図りながら、ものづくり力の維持・強化につながる労働人口の増加に取り組むとともに、歩行者空間の確保や若者の転出超過の解消、子育てしやすい環境づくり、元気な高齢者の増加に取り組む。</p> <p>公的不動産の活用策として、郊外移転した市場跡地を活用し、教育文化施設の整備を行うことで、都市機能の拡散防止と公共不動産の有効活用を図る。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>◇姫路市西部に位置するJR網干駅は山陽本線の京阪神方面に向かう電車の始発駅であり、また駅北側に県道久今宿線及び県道網干停車場線が通っており、姫路市西部の玄関口として、姫路市内のみならず隣接する太子町からも多くの住民が利用する地域交通の拠点となってきた。</p> <p>◇しかしながら、駅南側には昭和50年代に駅前広場が整備されているものの、駅利用者の半数以上が利用する駅北側には駅前広場が整備されておらず、道路や上下水道、都市ガスなどのライフライン施設が不足していることから、駅周辺は駅前商業地として有効な土地利用が図られていない状態である。駅周辺は平成30年に策定された姫路市立地適正化計画において都市機能誘導区域(地域生活拠点)に設定されているが、一定規模以上の商業施設や医療施設が存在していないなど、都市機能増進施設が不足している状態となっており、駅前広場の整備やライフライン施設の充実などにより都市機能増進施設の立地を誘導し、駅前商業地としての賑わいを創出することが求められている。</p> <p>◇また、県道を含む駅周辺の道路は幅員が狭く、歩道も十分に整備されていない状態であり、自動車、自転車、歩行者が錯綜し、非常に危険な状態となっている。地区西側では現在、兵庫県が都市計画道路龍野線の整備を進めている。龍野線の開通により南北交通の円滑化が期待できるが、これに伴い駅周辺の自動車交通量が増加すると想定されることから、関連事業である土地区画整理事業による道路整備と併せて、歩道や自転車通行帯の整備を実施することにより、安全・快適な歩行者空間・自転車走行空間を創出することが求められている。</p> <p>◇そのため、JR網干駅周辺地区(第1期)において都市計画道路網線及び網干駅北線を供用開始したほか、土地区画整理事業による道路整備を進めて、駅周辺の有効な土地利用を増進すると共に、安全な歩行者空間の改善を図っている。</p> <p>◇加えて、JR網干駅北側の公共用地率は極めて低く、交通結節点である駅周辺が特に防災上危険な地域となっている。JR網干駅周辺地区(第1期)における都市計画道路の整備等により、駅周辺の防災機能改善に向けた取り組みを進めているが、更に駅前広場を整備することで、市街地における防災上重要なオープンスペースの確保や消火活動を可能とする道路の確保など、防災性をより向上させるとともに、居住環境の改善を進めることが求められている。</p> <p>課題</p> <p>◇駅前広場の整備と道路、ライフライン施設の充実による地域核としての交通結節機能の充実</p> <p>◇都市計画道路の自転車ネットワーク整備及び歩道の高質化並びに土地区画整理事業の組み合わせによる安全で快適な歩行者空間・自転車利用環境の創出</p> <p>◇駅前広場と都市計画道路等の整備によるオープンスペースの確保や消火活動を可能とする道路の確保など防災性の向上</p> <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>①姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」(2021-2030)(令和2年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の都市基盤を有効かつ効率的に維持活用しながら、より暮らしやすい環境を整え、播磨の交流拠点にふさわしい、地域の特性を活かした快適で魅力ある持続可能な都市基盤の構築を目指す。 <p>②姫路市都市計画マスタープラン(2015-2030)(平成26年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺開発等を促進し、利便性の高い魅力的な駅前拠点の形成を目指し、歩行者のための安全な道路空間の確保や身近な自然とふれあえる緑豊かな都市空間の創出など、都市施設が整い快適で安心して暮らせる住宅市街地の形成を目指し、地域固有の伝統、文化を育む。 <p>③姫路市立地適正化計画(2010-2030)(平成29年度策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心拠点に連携する副次拠点、地域生活拠点及び生活拠点を核とした多核連携型都市構造の構築を目指すため、各拠点における都市機能の維持・確保に取り組むとともに、公共交通の機能強化による公共交通の利便性向上を図る。 <p>④姫路市地域防災計画(令和5年度修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市の防災空間、防災拠点等の整備、建築物等の耐震性の確保、災害に強い交通、ライフライン施設の整備を進めるほか、地盤災害の防止対策を徹底するなど都市の防災基盤の充実、強化を図る。

都市構造再編集集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

- ・中心市街地は、歴史的に播磨地域の中心都市であった経緯から、鉄道駅やバスターミナルといった公共交通の結節機能、百貨店や商店街、企業の支店等を中心とした経済機能、市民会館や駅前市役所等の公共公益機能をもとより有しているところであるが、まちの賑わい及び感動の創出並びに地域経済の活性化に寄与するため、文化交流機能の充実を図る。
- ・既成市街地外縁部については、人口減少、少子高齢化が顕著であることから、ものづくり力の維持・強化につながる労働人口の増加に取り組むとともに、歩行者空間の確保や若者の転出超過の解消、子育てしやすい環境づくり、元気な高齢者の増加に取り組むことにより、経済力の維持・強化や地域コミュニティの維持・活性化を図る。
- ・郊外部については、自然環境との調和や居住環境の保全、地域資源や既存の都市施設を活かした土地利用を図る。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
JR網干駅乗車人員の増加	人／日	JR網干駅の鉄道乗車人員	駅前広場の整備などによる地域核としての交通結節機能の充実の効果として、JR網干駅の利用者の増加を目指す。	6,815	R5年度	7,820	R11年度
歩行者・自転車交通量の増加	人／日	都市計画道路網干線の歩行者及び自転車交通量	都市計画道路と自転車ネットワークの整備による安全で快適な歩行者・自転車の創出の効果として、歩行者及び自転車交通量の増加を目指す。	2,700	R6年度	2,862	R11年度
消防活動が可能な道路に接する宅地面積率の増加	%	地区内における消防活動が可能な道路(幅員6m以上)に接する宅地の面積率	駅前広場や都市計画道路等の整備によりオープンスペースの確保や消防活動を可能とする道路の確保など、防災性の向上を図る。	87	R6年度	100	R11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>■整備方針1 利便性の高い魅力的な駅前の交通結節点づくり ◇JR網干駅はJR山陽本線の京阪神方面に向かう電車の始発駅となっている姫路市西部の玄関口であり、1日に6,734人(R4年)の乗車人員が利用しているが、駅南側には駅前広場が整備されているものの、駅北側には駅前広場や道路、上下水道、都市ガスなどのライフライン施設が整備されていない状態であるため、駅前の商業地として有効な土地利用が図られていない状態である。 ◇JR網干駅周辺地区は立地適正化計画において都市機能誘導区域(地域生活拠点)に指定されていることから、土地区画整理事業と併せた駅前広場の整備やライフライン施設の充実により商業地としての土地利用増進と都市機能増進施設の誘導を図る。</p>	<p>■道路(基幹事業/都市計画道路網干線) ■道路(基幹事業/都市計画道路網干駅北線) ■道路(基幹事業/網干駅前広場) □事業活用調査(提案事業/事業効果分析調査) ◇都市再生区画整理事業(関連事業/JR網干駅前地区)</p>
<p>■整備方針2 快適で安心して暮らせる、商業・住宅の調和したまちづくり ◇駅利用者の多くが自転車を利用し、駅周辺に多数の民間自転車駐輪場が存在することから、「姫路市自転車利用環境整備計画」により網干線及び網干駅北線は自転車ネットワーク路線に位置づけられている。計画にもとづいた整備により自動車・自転車・歩行者の通行空間を分離し、安全で快適な自転車通行空間の創出を図る。 ◇安全で高質な歩道の充実により、快適な歩行者空間の創出を図る。 ◇土地区画整理事業による区画道路の整備を合わせて行うことにより、地区全体での歩行者、自転車交通の安全性・快適性向上を図る。</p>	<p>■道路(基幹事業/都市計画道路網干線) ■道路(基幹事業/都市計画道路網干駅北線) ■高質空間形成施設(基幹事業/都市計画道路網干駅北線歩道高質化事業) □事業活用調査(提案事業/事業効果分析調査) ◇都市再生区画整理事業(関連事業/JR網干駅前地区)</p>
<p>■整備方針3 災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくり ◇JR網干駅北側は公共用地率が極めて低く、交通結節点である駅周辺など特に防災上危険な地域となっており、駅前広場を整備することで、市街地における防災上重要なオープンスペースの確保や消防活動を可能とする道路の確保など、防災性の向上を図る。 ◇土地区画整理事業による区画道路の整備を合わせて行うことにより、地区全体で防災性の向上を図る。</p>	<p>■道路(基幹事業/網干駅前広場) □事業活用調査(提案事業/事業効果分析調査) ◇都市再生区画整理事業(関連事業/JR網干駅前地区)</p>
<p>その他</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	205	交付限度額	102	国費率	0.5
---------	-----	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	道路		都市計画道路網干線	姫路市	直	254m	H25	R12	R7	R11	901	2	2	0	2	-
	道路		都市計画道路網干駅北線	姫路市	直	121m	H25	R12	R7	R11	283	1	1	0	1	-
	道路		網干駅前広場	姫路市	直	2,564m ²	H25	R12	R7	R11	746	182	182	0	182	-
	公園															
	古都保存・緑地保全等事業															
	河川															
	下水道															
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設															
	高質空間形成施設		都市計画道路網干駅北線歩道高質化事業	姫路市	直	121m	R10	R10	R10	R10	10	10	10	0	10	-
	高次都市施設	地域交流センター														
		観光交流センター														
		テレワーク拠点施設														
		賑わい・交流創出施設														
		子育て世代活動支援センター														
		複合交通センター														
	誘導施設	医療施設														
		社会福祉施設														
		教育文化施設														
		子育て支援施設														
		元地の管理の適正化														
	基幹的誘導施設															
	既存建築物活用事業															
	土地区画整理事業															
	市街地再開発事業															
	住宅街区整備事業															
	バリアフリー環境整備事業															
	優良建築物等整備事業															
	住宅市街地総合整備事業															
	街なみ環境整備事業															
	住宅地区改良事業等															
	都心共同住宅供給事業															
	公営住宅等整備															
	都市再生住宅等整備															
	防災街区整備事業															
	復興促進事業															
	エリア価値向上整備事業															
	こどもまんなかまちづくり事業															
	合計										1,940	195	195	0	195	

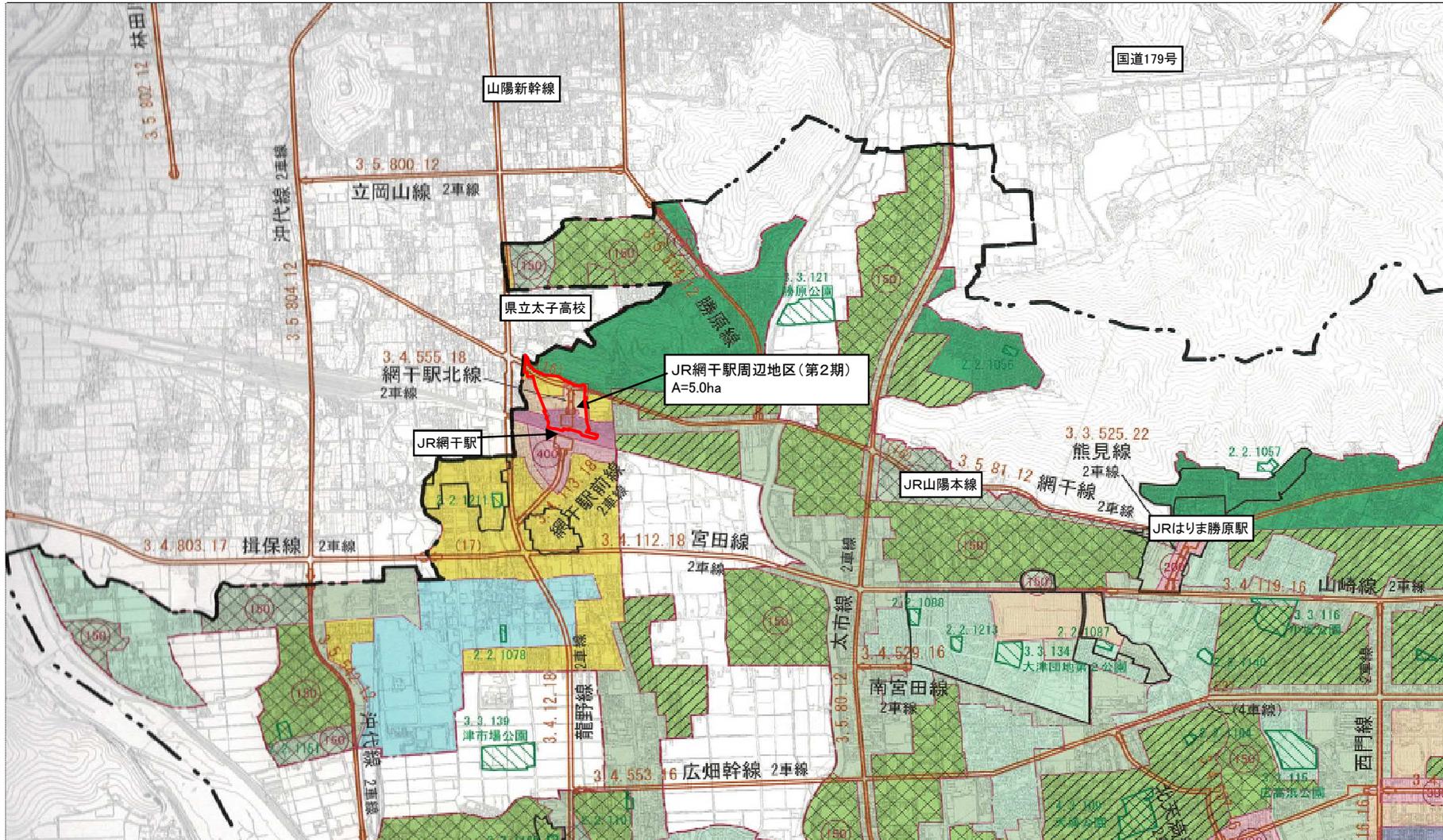
…A

提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	地域創造支援事業															
	事業活用調査	事業効果分析調査		姫路市	直	一式	R11	R11	R11	R11	10	10	10	0	10	
	まちづくり活動推進事業															
	合計										10	10	10	0	10	

…B

JR網干駅周辺地区(第2期)(兵庫県姫路市)

面積	5 ha	区域	姫路市網干区和久の一部
----	------	----	-------------



JR網干駅周辺地区(第2期)(兵庫県姫路市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標: 姫路市西部の玄関口にふさわしい、快適で賑わいある JR網干駅周辺の再生	代表的な 指標	JR網干駅乗車人員の増加 (人/日)	6,815 (R5年度)	→	7,820 (R11年度)
	目標1: 利便性の高い魅力的な駅前の交通結節点づくり		歩行者・自転車交通量の増加 (人/日)	2,700 (R6年度)	→	2,862 (R11年度)
	目標2: 快適で安心して暮らせる、商業・住宅の調和したまちづくり 目標3: 災害に強い安全で安心して暮らせるまちづくり		消防活動が可能な道路に接する宅地面積率の増加 (%)	87 (R6年度)	→	100 (R11年度)

